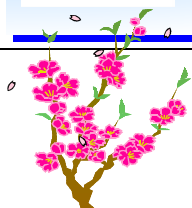


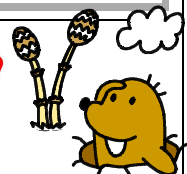


川俣小学校「学校だより」
輝くひとみ
 令和3年4月9日(金) 第2号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども
 発行者 校長 本名 武



選んだ以上の出会いに



4月6日の着任式では、前号の教職員紹介のとおり、4名の転入職員を迎えました。子どもたちはこの出会いに瞳を輝かせながら、転入職員のそれぞれの思いや願いを立派な姿勢でしっかりと受け止めているようでした。令和3年度初日、全校児童169名全員出席のスタートとなりました。



人との出会いは一つ一つ選べるものではありませんが、朝ドラ「エール」の古関少年と音楽教師のように、子どもたちにとって大きな意味をもつ出会いとつながりとなるよう、選んだ以上の出会いとなるよう取り組んでまいりたいと思います。今年度も担任等へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



～「グリット」カ～



第1学期始業式では、「こうなったらいいな」「あんなふうにできたらいいな」と願う夢や憧れのたいていのことは実現するという話をしました。自転車乗りや縄跳びを例に、できるようになりたいという強い



気持ちと毎日のねばり強い取組で、ついに夢が叶う瞬間がやってくることを話し～途中であきらめない限り、投げ出さない限り～、毎日、自分の夢に近づいていることを伝えました。この「失敗してもあきらめずにねばり強くやり抜く力」のことを才能型や努力型にも当てはまらない成功者に共通する特徴～第3の成功因子「グリット」力というのだそうです。GRITとは、Guts (ガッツ)、Resilience (立ち直り)、Initiative (自発)、Tenacity (粘り強さ)。

なりたい自分を強く想像し、やるべきことをしっかり考え、あきらめずに実行し始めるとき、夢や未来も静かに動き始める・・・最近では、闘病・リハビリから驚異の競泳五輪代表を実現させた女子水泳選手の感動的な涙の姿が思い浮かびます。グリット力には、子どもの自尊感情や自己有用感を高める周囲の承認や励ましがとても大事になってきます。子どもが挑戦しようとしたとき、めげずにやってみようとしたときが子どもが伸びるチャンスです。子ども自身が少々困難なことにも「できるかも!」「よし、やってやるぞ!」と前向きに考える習慣をもたせるのが目の前のことができるか否かよりも長い目で見たときに重要に感じます。生き生きと前向きに、そして、よりよく生きるためのグリット力を高めていきたいと思います。



川俣小学校ホームページ

子どもたちの日々の学校生活の様子やがんばり、学校の考え等を画像と文章でホームページブログで掲載しています。昨年度は480ほどの記事を掲載しました。本年度も閲覧等どうぞよろしくお願いいたします。

